

30年度大岡小学校 6年2組 クラスの学びを発信します！

# 元気ハツラツ 布ぞうりC

## ～布ぞうりを作りたい～

「大岡の学習」で大切にしたいことを話し合うと、「まちの人や商店街の人たちへの感謝や恩返しをしたい！」という地域愛についての話題と「たくさんの人と関わりたい」「本当の楽しさを知り、同時に今の自分たちが課題にしている部分も改善されることにチャレンジしてみたいということ」に集中しました。取材しているとまちの人から「お年寄りが、元気がないこと」や「人が集まるコミュニティの場があるといいな」という声を聞き、自分たちに何かできないかと考えました。布ぞうりには、機能面・製作が単純・身近な材料で若男女問わず作れ、リデュースすることで環境問題に貢献、自分たちの「姿勢の矯正」から健康・校舎の汚れからの衛生面など、多くの視点で学びと探求が考えられ大変魅力的です。多くの人と関わる中で人とのつながり、また人と人とをつなげる喜びに気付くことができれば、活動で得た達成感や自信、まちへの誇りを持ち、これからも積極的にまちづくりに参加して、よりよいまちをつくっていく子になっていくと考えました。



布ぞうり作りを、見通しをもって活動できるように掲示物を工夫しました。すると、子どもたちが自ら進んで課題を見つけたり自主的に活動したりすることができました。布ぞうり作りに没頭することを意識して、1人ひとりが自分の理想の布ぞうりを明確にして作り方をマスターしました。形・そして鼻緒の強度を克服出来るようにしていきました。また、プログラミング的思考を活用して目的やビジョンを全体で共有して確認しながら活動していきました。プログラミングが目的ではなく、課題を解決する手段として探究的な学習の過程に位置付けることができました。思考の中で、イメージ通りのぞうりにならないということが多々見うけられました。そんな時には「どこに問題あるのか？」と立ち止って考え、問題点をはっきりさせて解決していこうと努力する姿が見られるようになってきました。布ぞうり作りが中心だったので、夏休み明けは、布ぞうりを通してのコミュニティ作りや専門家との交流、実際に販売するなど子どもたちは、計画しています。

